**ジャパンゴルフフェア２０２０開催のご挨拶**

一般社団法人 日本ゴルフ用品協会 会長　アレックスM・ボーズマン

過去最大の来場者数を記録したJGF2019の開催後、現職に就かせていただき、ここでご挨拶させていただくのは初めてとなります。このリリースをお読みいただく媒体社の皆様、ゴルフ関連企業の皆様、ジャパンゴルフフェアをよろしくお願いいたします。

　JGF2019の開催に向けた馬場前会長のご挨拶冒頭に「ゴルフファンを増やそう」とありました。このストレートな言葉からも、ジャパンゴルフフェアがどの方向に向けて進もうとしているのか理解できると思います。

　私も着任時のコメントに「ゴルフ人口の増加」を掲げ、ジャパンゴルフフェアをそのための起点として活用していくという考えを披露させていただきました。そしてその具体策として、ゴルフへの興味が喚起できるようなコンテンツの開発と発信、より多様性のある出展社の獲得に努めてまいりました。間もなく、その成果を皆様に披露することが出来るという期待と緊張を感じている現在です。

　昨年のラグビーワールドカップの熱狂は非常に印象深く、いよいよ本番を迎えるオリンピック・パラリンピック東京大会への興奮も伝わってきますが、ゴルフにおいても、東京大会をきっかけとした飛躍の可能性が期待できる年になると考えています。

老若男女問わず楽しめる、素晴らしいスポーツであるゴルフ。ラグビーの魅力であるOne Team やNo Side にも引けを取らない文化性を持つゴルフ。そんなゴルフの魅力を伝えられるのが、国内外トッププレーヤーの東京大会での活躍と、ジャパンゴルフフェアにおいて訴求できる多様かつ膨大な情報であると確信しています。

横浜開催4年目となる今回、これまでの蓄積を生かしながら、より効果性のある企画に取り組みました。「情報の多様性」についてはギア情報の充実をベースとしながら、ゴルフライフにかかわる様々な要素を訴求していく方針です。「訴求ターゲット」の視点では、ギアの機能進化を推進させているコアなゴルフファンだけでなく、トレンドを牽引している女性層や若年層への様々なアプローチも強化しています。

具体的な企画の内容については別途ご案内いたしますが、今回も6万人の来場者、関係する全ての企業・団体の成功、そしてゴルフの隆興を目指し、ジャパンゴルフフェア2020を開催させていただきます。

皆様のご支援、ご協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。